

---

# バカと舞い手と召喚獣

鉄村28号

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バカと舞い手と召喚獣

### 【Nコード】

N2980Z

### 【作者名】

鉄村28号

### 【あらすじ】

文月学園には天才がいた…

その中性的な顔立ちと召喚獣が持っている複数の扇子からつけられた「文月の舞い手」こと最上隆夜>>もがみりゅうやくがFクラスの悪友達と

文月学園に革命を巻き起こす!?

メインヒロインは木下姉

主人公は点数と体術がチート使用となっていています  
駄文ですが是非暖かい目でみてやって下さい…

主人公設定です(前書き)

タイトルどおりです

## 主人公設定です

最上隆夜>>もがみりゅうや<<

身長 176?

体重 62?

## 特徴

目が紅く顔は女性と間違えられるほど整っており、体格は細いが、翔子が雄二にアイアンクローをするときと同じぐらいの握力を持っている

顔立ちが中性的なだけあってナンパされることも多い

小学生の頃、明久と姫路と知り合い友達になり

中学1年の頃、親の都合で転校

ここで雄二、翔子と出会う

さらに木下家とも家族ぐるみの付き合いをしており秀吉と優子とは幼なじみである

## 召喚獣

## 服装

召喚獣は黒の袴に青の胴着その上に、後ろに金の最上家の家紋が入

った羽織りを着ている。

武器

・ 諸葛亮が持っていたとされる白羽扇（真・三國無双の諸葛亮の武器）

・ 隠し細工のしている扇子

・ 護身用の短刀

（その後もいろいろ武器を増やす予定）

主人公設定です(後書き)

これからも続きます

## プロローグ(前書き)

タイトルどおりです



## プロローグ

隆夜 side

桜舞う四月…

俺が文月学園に入学してから二度目の春が訪れた。

ピピピピ…

「うーん、もう朝か……」  
……チラ

AM 8 : 18

………は？

ガバツ

『遅刻だああああああああああああああああああ………』

俺の新学期スタートダッシュ計画は1と1が早速崩れてしまった隆夜であった……

文月学園正門前

もう間に合わないと思いきょっくりと正門まで歩いていくと

??「遅いぞ!!最上!!」

と思わず背中がピンとなってしまうほどドスの効いた声…  
間違いない

『おはようございます西鉄宗人先生「ガシッ」……何ですか?』

鉄人「誰がそんな名前だといった?」

『じゃあ鉄村鉄一郎「ガンツ!!」……痛い……』

鉄人「フウ、しっかり名前を呼べ馬鹿者」

といいながら鉄人は封筒を差し出す

『ありがとうございます。まあ見てもしょうがないですけど』

鉄人「しかし、なぜよりによって無記名、無記入なんだ?  
最上の力だったら確実にAクラスの主席はいけただろ?」

『そんなの面白くないじゃないですか 俺はAクラスに挑戦する  
ほうがおもしろかったんで』

鉄人「ハア…まあいい、さっさと教室へ行け」

『はいよ』

と、俺は旧校舎のほうに向かった

《最上隆夜……Fクラス》

## プロローグ（後書き）

どんどん行きます

## 出会い 悪友と親友（前書き）

### 【第一問】

問 以下の問いに答えなさい

『調理の為に火をかける鍋を製作する際、重量が軽いのでマグネシウムを材料に選んだのだが、調理を始めると問題が発生した。この時の問題点とマグネシウムの代わりに用いるべき金属合金の例を一つ挙げなさい』

姫路瑞希の答え

『問題点……マグネシウムは炎にかけると激しく酸素と反応する為危険であるという点。』

合金の例…ジユラルミン』

教師のコメント

正解です。合金なので『鉄』では駄目という引っ掛け問題なのですが姫路さんは引っかかりませんでしたね。

土屋康太の答え

『問題点…ガス代を払ってなかったこと』

教師のコメント

そこは問題じゃありません

吉井明久の答え

『合金の例……未来合金（凄く強い）

教師のコメント

凄く強いといわれても。

最上隆夜の答え

『合金の例……鉄人の肌』

教師の答え

「西村先生が生徒指導室で待ってるそうです。」

## 出会い 悪友と親友

隆夜 side

俺はAクラスの教室を見ず、そのままFクラスの前へと向かったと、そこへ

「あれ？隆夜??」

もう聞いているだけでバカだとわかりそうな「失礼なッ!!いくら何でもそこまでバカじゃない!!」……「ごほんまあいい

『久しぶりだなバカ……バカ久』

明久「そこは言い直そうよ!!僕の名前は吉井『バカ久』だって…違あう!!だからぼくは『はいはいわかってるって。ところで明久、お前Fクラスか?』

明久「うう…そうだけどリュウはAクラスだよね??なんでこんな所にいるの?」

『ホレ』 と明久に封筒を渡す





これやられたら泣きそうになるよ…

よし仕方ないことは…

『すいません遅れました…（涙）』

??「早く座れ、この糞虫野郎」

……………（；；）

??「ああ、隆夜が悪い悪い」

明久「明らか僕とは待遇が違うよね!？」

??「黙れウジ虫、教室が腐る」

明久「雄二なんて嫌いだっ!」

そう、先程罵倒された親友を罵倒した相手こそ

このFクラスの代表、

坂本雄二だった

出会い 悪友と親友（後書き）

自分の小説の書く能力は0に等しい

## 波乱万丈？の自己紹介（前書き）

### 【第二問】

問以下の意味を持つことわざを答えなさい

姫路瑞希の答え

『1）弘法も筆の誤り』 2）泣きつ面に蜂 』

教師のコメント

正解です。他にも（1）なら『河童の川流れ』や『猿も木から落ちる』、

（2）なら『踏んだり蹴ったり』や『弱り目に祟り目』などがありますね。

土屋康太の答え

『（1）弘法の川流れ』

教師のコメント

シユールな光景ですね。

吉井明久の答え

『（2）泣きつ面蹴ったり』

教師のコメント

君は鬼ですか。

最上隆夜の答え

『（2）3日間ソルトウォーターの吉井明久にサルモレラ菌』

教師のコメント

吉井君にはあんまりだと思います

## 波乱万丈？の自己紹介

『よお、雄二振り分け試験の前日以来だな』

雄二「ああ、お前なら来てくれると思った。これで戦力は大幅に増したな。」

すると

「「総員！！坂本を狙ええええ！！」」

ダツ（雄二の反射的回避）  
カカカカカツ（カッターが黒板に刺さる音）

アブねえ！！もう0.1秒反応が遅れたら雄二に十数本が刺さっていた

あれが明久だったら

何本かは刺さってたな…

雄二「危ねえ…一体何しやがる！！」

「「黙れえ！！そこにいる美少女といちゃつきやがってえ！！ぶち殺す！！」」

.....ほう

『そうかそうか俺が美少女かあ…』

てめえら覚悟はできてんだろうなあ』

ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ

カタカタカタカタカタ（雄二と明久が抱き合いながら震えている様子）

バキガスガスドガグワシャーン！！

————しばらくお待ち下さい

みんな死んでる間に担任福原先生登場

大怪我をおったはずのFFF団がなぜか復活

福原「それでは、自己紹介でも始めましょうか。そうですね。廊下側の人から願います」

木下「うむ。木下秀吉じゃ。演劇部に所属しておる。そこにいる最上とは幼なじみじゃ。一年間よろしくたのむぞい。」

まずは秀吉か。

幼なじみとはいえかれこれ2年はあつてなかつたな。

「……………土屋康太」

誰かと思えば康太か。

……………また保健体育教えてもらうか

んーでも康太が言ってることさっぱりわかんねえしなあ

言っただとしても鼻血だして倒れちゃうし…

「……………です。海外育ちで、日本語は会話はできるけど読み書きが苦手です。」

ん？女子か？ま、このむさ苦しい中で紅一点。このクラスの中で溶け込むのは厳しいと思うが…

「趣味は吉井明久を殴ることです」

前言撤回。彼女はコンマ一秒でこのクラスに溶け込めるはずだ。断言してもいいぐらいに。



波乱万丈？の自己紹介（後書き）

くおまけ

雄二「おい、作者。いつまで布団の中引きこもってんだ、起きろ」  
ら。」  
げしっ

作者「痛ええええええ！！」

「なにすんだてめえ！！やんのかこら！？」

スチャ（作者がサイダーを構える）

スチャ（とっさにコーラに手をかける雄二）

ピチヨーン

！！！！！！

シャカシャカシャカ



プシャーーーーー

バタバタバタバタ

作・雄「目、目がああーーーー!!」

明久「はあ……………次回も《バカと舞い手と召喚獣》をお願いします  
……………って作者!それ僕のサイドだよ!!」

## 雄二の打倒Aクラス計画！！（前書き）

### 【第三問】

問 以下の英文を訳しなさい

「 This is the bookshelf that my  
grandmother had used regularly  
y」

姫路瑞希の答え

「これは私の祖母が愛用していた本棚です。」

教師のコメント

正解です。きちんとべんきょうしていますね。

土屋康太の答え

「これは

」

教師のコメント

訳せたのはThisだけですか。

吉井明久の答え

「 ? \* x」

教師のコメント

「できれば地球上の言語で。」

最上隆夜の答え

「これは私の祖母が愛用していた《必見！！基礎から固める黒魔術！！》が入っている本棚です。」

教師のコメント

「祖母がどんなに黒く染まってもテストを真面目に受ける気持ちはしっかりとって下さい。」

## 雄二の打倒Aクラス計画！！

明久「……………失礼。忘れて下さい。とにかくよろしくお願い致します。

」

明久はやっぱりバカだなwwまあ、今に始まったわけじゃないけど

―その後はいかにも単調な自己紹介が続き、

『……………寝るか』

と思った俺は意識を闇へと放り出した…………

……………ありじゃあつー！」「」

(ん？なんかあったか？)

と思い顔をゆっくりと開けて見ると

雄二「だろう？俺だってこの現状は大いに不満だ。代表として問題意識を抱いている。」

「そつだそつだ！」

「いくら学費が安いからと言って、この設備はあんまりだ！改善を要求する！！」

「そもそもAクラスだって同じ学費だろ？あまりに差が大きすぎる！」

などなど多数の上がる不満の声

雄二「みんなの意見は最もだ。そこで」

雄二「これは代表としての提案だが…」

雄二「FクラスはAクラスに『試験召喚戦争』を仕掛けようと思つ」

雄二は戦争の引き金をひいた。

が、しかし

『勝てるわけがない』

『これ以上設備が落とされるなんて嫌だ』

『姫路さんがいたら何もいらぬ』

…っオイ

誰だ今姫路に告白したの。

ていうかなんで姫路がFクラスに？  
と悩んでいると、

明久（体調不良で途中退席したんだよりユウ）

と明久が教えてくれた。

雄二「根拠ならあるさ。それを今から説明してやる。

おい、康太。畳に顔をつけて姫路のスカートを覗いてないで前にこ  
い。」

康太「……………」（ブンブン）

姫路「は、はわっ」

…… 本当に流石康太としか言いようがない。

雄二「土屋康太。こいつがあのお有名な寡黙なる性識者だ。」  
ムツリーニ

「ムツツリーニだと…?」

「馬鹿な、ヤツがそうだというのか…?」

「だけ見る。あそこまで明らかな覗きの証拠を未だに隠そうとして  
いるぞ……」

「ああ。ムツツリーニの名に恥じない姿だ……」

…… まあ、康太だし、仕方ないか……

雄二「姫路や木下秀吉だっている」

「ああ……!」

「彼女たちさえいれば何もいらぬい」

…… 本当に誰だよ

さつきから熱烈にアピールしてる奴……殴り飛ばしてやるのか?

雄二「当然俺も全力を尽くす」

「坂本って、小学生の頃は神童とか呼ばれていなかったか？」

確かに中一の頃は頭よかつたけどな…  
今はさっぱりだろアイツ。

と思考に耽っているうちにFクラスの指揮は確実に上がっていた。

「それに、吉井明久だっている」

————…シン

空気が一瞬凍りついた

明久「ちよつと雄二！どうしてそこで僕の名前を呼ぶのさ！全くそんな必要はないよね！？」

「誰だよ？吉井明久って」

「聞いたことないぞ」



うわっ

士気だだ下がりじゃねえかWW

雄二「まあ、馬鹿はおいといて  
こっつ。

最後に俺の秘密兵器を紹介しと

おい、隆夜！前にでてこい」

『つたく……』

といつつも素直に教壇の上に立つ

「こいつが秘密兵器の最上隆夜。

…『文月の舞い手』だ。」

「「なあーにー！ー！」」

…うるせー、頭にかなり響く。

「あの総合点五万点越えの奴か！？」

「いろんな学校から講師のオフアーが殺到しているときいたぞ!!」

「すげえー!!これなら俺らでもAクラスに勝てるぞ!!」

雄二「…と言う事だ。いいか!!ならば全員ペンを執れ!!出陣の準備だ!!」

「おおおおおー!!!!」

雄二の打倒Aクラス計画！！（後書き）

くおまけ

優子「……………ねえ、作者…なんでまだ私の出番がまだないの？」

『はっはっは それはですね〜あなたが書きづらいからあっ、違う  
…その間接はそっちにはまがらなっ……………ギャー…!』

秀吉「やれやれ…

これからも『馬鹿と舞い手と召喚獣』をよろしくなのじゃ…

あっ、姉上？なぜワシのうでをつかむのじゃ？

Dクラス戦前…(前書き)

【第四問】

問 以下の問いに答えなさい

『 $1 - 4 \sin X + 3 \cos 3X = 2$ 』の方程式を満たし、かつ第一象限に存在するXの値を一つ答えなさい。

$2(\sin(A+B))$ と等しい式を示すのは次のどれか、 $?$ の  
中から選びなさい。

$$? \sin A + \cos B \quad ? \sin A - \cos B \quad ? \sin A \cos B$$

$$? \sin A \cos B + \cos A \sin B$$

姫路瑞希の答え

$$\text{「 } 1 - X = 6 \text{」}$$

$$\text{「 } 2 = ? \text{」}$$

教師のコメント

そうですね。角度を『 $\theta$ 』ではなく『 $\alpha$ 』  
で書いてありますし、完壁です。

土屋康太の答え

$$\text{「 } ? = 3 \text{」}$$

教師のコメント

およそをつけて誤魔化したい気持ちもわかりますが、これでは解答に近くても点数はあげられません。

吉井明久の答え

「2） およそ？」

教師のコメント

先生は今まで沢山の生徒をみてきましたが、選択問題でおよそをつける生徒は君が初めてです。

最上隆夜の答え

「1）一筋縄ではいかない」

教師のコメント

「わかりました。後で生徒指導室で、西村先生の前でゆっくりと解答（補習）して下さい」

## Dクラス戦前：

と、興奮冷めやまない中

雄二「明久にはDクラスへの宣戦布告の使者に逝ってもらおう。無事大役を果たせ！」

明久「……下位勢力の宣戦布告って大抵ひどい目に遭うよね？しかも今、字が違ってたよね？」

『男が小さいことで気にするな。さっさと逝ってこい。』

明久「隆夜も何か字が違うよね!？」

( (メタ発言禁止です) )

by 作者

雄二「大丈夫だ。奴らがお前に危害を加えることはない。騙されたと思っ行ってみる」

明久「本当に？」

雄二「ああ。俺を誰だと思っている」

明久「………わかったよ。使者は僕がやる。」

雄二「ああ、頼んだぞ」

………

『ホント、バカとハサミは使いようって今この時を指してるな』

雄二「全くだ（ニヤニヤ）」

その後黒い笑みを浮かべた二人がいたとか。

明久「騙されたあつ！」

雄二「…やはりそうきたか」

明久「やはりって何だよ！やっぱり使者への暴行は予想通りだったんじゃないか！！」

雄二「『当然だ。』」

明久「少しは悪びれるよ！」

『つたく、小学時代からの付き合いだったのに、わからなかったとはな』

明久「本当についてないよ…」

姫路「吉井君、大丈夫ですか？」

明久「あ、うん。大丈夫。殆ど掠り傷」

美波「吉井、本当に大丈夫？」

明久「平気だよ。心配してくれてありがとう」



……なぜだろう嫌な予感しかしない

美波「そう、良かった……。ウチが殴る余地はまだあるんだ……」

明久「ああっ！もうダメ！死にそう！」

『嫌、違つぞ島田。もっとプロレス技の方がもっと悦ぶぞ』

明久「ちよっ、隆夜！何言つてが砕けたように痛い痛い！」

「……………しばらくお待ち下さい

『明久。宣戦布告はしてきたな？』

明久「一応今日の午後に関戦予定と告げてきたけど」

美波「それじゃ、先にお昼ご飯ってことね？」

雄二「そうなるな。

屋上でミーティングでも開くか？」

『俺はパス。Aクラスの優子と飯食つから』

雄二「ん。了解」

と隆夜は新校舎にあるAクラスへと向かった

くAクラス

『たのも〜』

翔子「……………隆夜。久しぶり」

『おっす、元気そうで何よりだ。優子はいるか?』

翔子「……………ちょっと待ってて」

しばらくソファに座っていると

優子「ごめん、今日、日直だったの……………待った?はい弁当。」

『いや、そこまで待ってないから。腹減った〜  
さっさと食べようぜ』

優子「そうね」

その後二人の間にはほんのりピンクのオーラが漂っていた…

Dクラス戦前…(後書き)

文才が欲しいわ……

主人公設定（能力編）（前書き）

かなり短いです

あんまり見なくても大丈夫です。

## 主人公設定（能力編）

テストの点数

現在、学年主席の霧島翔子の点数を遥かに超えるハーバード大学など、超一流大学の臨時講師のオファーが殺到している。

得意教科は英語、数学、世界史

苦手科目は保健体育

保健体育のみ点数は明久と同レベルぐらいである

参考…

総合科目 50000}

国語系 1000}

数学系 5000}

英語系 5000\

理科系 2000\

社会系 4000\

保健体育 10\

結構誤差があります。

これからもどんどん成長する予定です

腕輪の能力は内緒で。



主人公設定（能力編）（後書き）

すいません…

作者国語能力零なんで…

## 白熱？Dクラス戦（前書き）

### 【第五問】

問 以下の文章の（ ）（ ）に正しい言葉を入れなさい  
「光は波であって、（ ）（ ）である」

姫路瑞希の答え

「粒子」

教師のコメント  
よくできました。

土屋康太の答え

「寄せては返すの」

教師のコメント

君の解答はいつも先生の度肝を抜きます。

吉井明久の答え

「勇者の武器」

教師のコメント

先生もRPGは好きです。

最上隆夜の答え

「破壊兵器」

教師のコメント

間違っているのではないです。

## 白熱？Dクラス戦

鉄人「さあ来い！この負け犬が！」

雑魚「て、鉄人！？嫌だ！補習室は嫌なんだっ！」

鉄人「黙れ！捕虜は全員 この戦闘が終わるまで補習室で特別講義だ！終戦まで何時間かかるかわからんが、たっぷりと指導してやるからな」

雑魚「た、頼む！見逃してくれ！あんな拷問耐え切れる気がしない！」

鉄人「拷問？そんなことはしない。これは立派な教育だ。補習が終わる頃には趣味が勉強。尊敬するのは二宮金次郎、といった理想的な生徒に仕立て上げてやるっ」

雑魚「お、鬼だ！誰か、助けっ……イヤア……（ボタン、ガチャ）」

そんな修羅場の中、主人公はというと…

「ズズズー」

………平和だ』

坂本「思いつきり戦争してるからな!？」

お茶をしました(笑)

何でも代表(坂本)が言うには、隆夜はBクラス戦の切り札として残してあるとか何とか…

と言うことで隆夜と雄二はかなり暇なのでお茶をのみなから『モンスターハンター2G』をやってるらしいです。

と、いろいろ和んでいたら教室の中にクラスメートの横田君が入って来ました。

横田「坂本、吉井たちがじりじり下がってきてるぞ。どうする? このままだと、本陣まで敵が来てしまうが…」

坂本「なら明久にこれを言ってくれ。」

わかった。

と横田が出ていきました。

とその五秒後ぐらいに

明久「突撃しろーっ！」

… 本当に明久は単純な奴です。 ばい作者

と、フルフルを退治している最中に今度は須川君がやって来ました。

須川「坂本、先生を引き離す為に偽情報を流したいんだが…」

『なら、「船越先生に男と女の大事な話がある」と言ってくれ。』

そうだな…明久で大丈夫だろ。』

須川「ん。わかった。」

坂本「……………お前、ドSだろ。」

『まあ、雄二にはまけるけどな』

ぴんぽんぽんぽーん

……………

明久「す、須川ああああ！」

教室中に明久の声が響きわたった

結局、Dクラス戦は姫路が平賀を討ち取ったんだと。

(手抜きとか、イワナイデ…)(





白熱？Dクラス戦（後書き）

え〜近々、遊戯王の方も書いていきたいので余計更新遅くなります。

申し訳ないm（| |）m

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2980z/>

---

バカと舞い手と召喚獣

2011年12月27日00時48分発行